



留学だより 最終号



皆さんこんにちは。カナダのオンタリオ州に留学していた15期の金光です。日本に帰ってきました。家族や友達との再会を喜んだり、湿度の高さにショックを受けたりしています。ちなみに時差ボケがひどかったです……。

バレーボール

皆さんもご存じの、バレーボールのNation Leagueが開催されましたね。日本は男女ともに銀メダル！本当にかっこいいです。さて、予選のいくつかの試合はカナダ・オタワで開催されていた為、ホストファミリーと3試合を見に行きました。会場で聞くサーブ音の大きさや、出場国ごとによって変わる観客の応援の仕方が印象に残っています。特に、カナダ対セルビアの試合では、カナダ側の観客がセルビアチームに対してブーイングをしていました。いくら自国チームに勝利してほしいからと言ってブーイングするのはどうかと思います。結局、セルビアチームの勝利でした。翌週にカナダ対日本の試合が予定されていた為、カナダの選手に声をかけ、日本との試合を楽しみにしていると伝えたところ、高橋藍選手と会えるのが楽しみだよ！と笑顔で答えてくれました。



ちゃっかりカメラさんと仲良くなり、沢山スクリーンに映してもらいました！

Relay for Life



がん患者の勇気を敬い、行進を続けるチャリティーイベントです。このイベントはカナダだけでなく日本でも開催されているそうです。私の学校では、生徒と学校がこのイベントを企画し、平日の授業をキャンセルしてイベントが開催されました。当日は雨でしたが、行進やスポーツが行われました。私も友達たちとグループになって参加をしました。

Adventure in Citizenship

先月の留学だよりの続きです。コミュニティーのクラブに所属している方々に向けて、成果発表会を行ってきました。前回の留学だよりにまとめたことや、留学生としてカナダをどう見ているのか、などについて発表しました。クラブのメンバーは年配の方が多かったため、学校生活では交流のできない方々との時間は貴重なものでした。



Adventure in Citizenship での集合写真



発表の様子

帰国

いよいよ帰国です。友達や先生と写真を撮ってもらいました。又、誕生日会とサプライズでお別れ会を開いてもらいました。友達から手紙やギフトを貰ったり、スライドショーを作ってもらったりしました。皆で涙を流しすぎた6月でしたが、同時に沢山の愛を貰った一か月でもありました。



留学のリアル

さあここに何を書くかは沢山迷いました。(ネガティブな内容もあります。)

差別

本当に沢山の人が生活をしているカナダ。もちろんアジア人、日本人をよく思わない人たちもいます。やんわり書きましたが、つまりは高校留学中にいくつか差別も受けましたよ、ということです。

勉強と部活動

高校留学へ行くとなると、やはり学習のことが気になりますよね。今、帰国して思うのは、もっとレベルの高い授業に挑戦すればよかった、ということです。例えば、私は理科を受講したのですが、それをもっと細かく分け、生物を受講するなど、深掘りして一つの強化に集中しておけばよかったと感じます。部活動に関しては、ホストの送り迎えの関係もあってなかなか積極的に参加できる状態にありませんでした、ただ、これについては周りの大人に素直に相談すればよかったな、と悔いが残ります。

友人関係

留学生として過ごしていく上で、現地生徒との距離を感じるがありました。どのように表現すればよいのか難しいのですが、外国人として気を遣って接してもらうことで、疎外感というか寂しさというか、そういった気持ちを持つことができました。現地で本当の友情関係を築くためには、日本の感覚で伝えるなら自分中心になってみたり、自分に自信をもって相手と話したりする必要がありました。私の場合はこれができるようになるまでに時間がかかりました。

一年という期間

留学に一年行ってみて思ったのは、やはり自分に自信がつくことです。先ほど述べた通り自分の意見をはっきり言わない限り認めてもらうことが出来ない国がカナダです。“空気を

読む”という概念が日本程ないカナダでは、いつでも素直さが求められます。そのほかにも2か国には多くの違いがあります。そのカルチャーショックを身をもって体感し、それに対応した後は、自分への自信がさらに高まりました。

次世代研修



コミュニティーを離れた後は次世代生と合流し、トロント大学へ移動しました。研修のテーマはリーダーシップについて。ディスカッションやプレゼンを通してカナダでの一年間について振り返りました。また、トロント大学の学生との交流、キャンパスツアーにも参加してきました。1年ぶりの研修で、発言やプレゼンを通し、自分の成長を感じました。また、同期達の姿を見ながら良い刺激を受けました。

留学を振り返って

さて、こうして夢であった私の海外高校生活は終わりを迎えました。次世代研修生になってから2年間、本当にあつという間ですね。悲しいような、嬉しいような。留学で沢山の大人の方に助けていただきました。本当に感謝をしています。帰国をした私には高校生活が一年半しか残っていません。毎日を大切に過ごしたこの1年間があつという間だったことを知っているからこそ、帰国した後の生活も全力で頑張っていきたいと思います。

最後になりますが、この1年間、月末に留学だよりが掲載された後は、日本にいる友人や家族、同じカナダで奮闘する留学生、他国に住む友達たちからメールで励ましの言葉を貰いました。「頑張ってるね」ではなく「頑張っているね」という言葉で本当に元気が出ました。日本を離れてでも自分を思ってくれている仲間が沢山いることを幸せに思います。

高校留学ができて本当に良かったです。

この1年間の間、私の留学だよりを読んでくださってありがとうございました。少しでも役立つ情報を発信できたのであれば幸いです。

ではまたどこかでお会いしましょう！